

水害後の家屋への適切な対応

1. 床下を確認する(床はがし) 床下浸水でも必ず確認

和室の場合

- ・畳の下にある板をはがす。
- ・板は無垢材なら洗浄して陰干しすれば再利用可能。
- ・どの部屋の何番目なのか「印」をつけてからはがす。

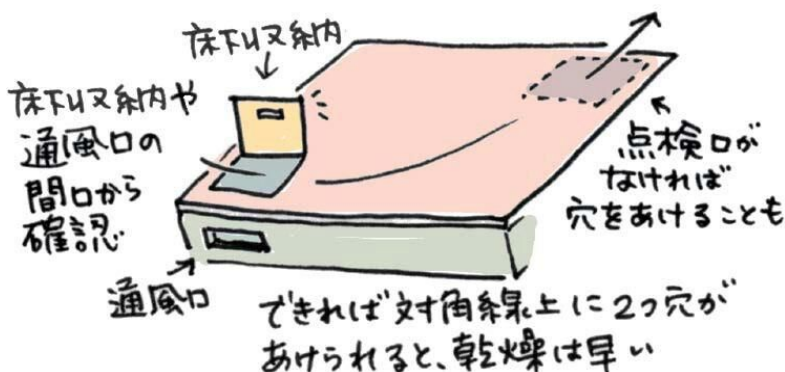


★特に注意すること

- ・サッシや敷居の下に潜り込んでいる板は無理にはずさない。
- ・一部切断する場合は、床板を支えている根太（ねだ）の中心で切ると戻しやすい。
- ・根太は切らない。どうしても切る場合は、根太を支えている大引きの中心で切る。

洋室の場合

- ・床下収納、点検口を開ける。
- ・床下に水や泥があれば除去。
- ・点検口などが無い場合は、工務店などで作ってもらう。（相場は2万円～）



★特に注意すること

- ・自分で点検口をつくる際は一辺60cmの正方形に開ける。
- ・貼り合わせのフローリングは、長持ちしないことがある。
- ・もぐって作業する場合は、換気に注意し、必ず複数名で行う。



←点検口を作成して
床下の確認と乾燥

床下がプール状態
のことも→



ここも忘れずに！

通風口が見えない基礎の確認

(基礎パッキン工法)



この部分に泥などが詰まると、床下の空気が滞留する

2. 壁材を撤去する

浸水ラインから20～30cm上まで撤去するのが望ましい

石膏ボードの場合

- ・ カッター等で切れ目を入れてはがす。
- ・ 半分以上ぬれていたら、一枚分全部廃棄する。
- ・ ぬれていないボードは残す。



石膏ボードの裏に大量のカビが生えていることも↓



土壁の場合

- ・ 再度土壁にする際は、その土が利用できる。
- 小舞（内側の格子状の細かい骨組み）は残す。
- ・ 貫（45cm間隔ほどで組まれている骨組み）は基本残す。
- ・ 石膏ボードにする場合は、小舞は撤去する。

断熱材の対応

- ・ グラスウール（わた状のもの）は廃棄する。
- ・ スチロール板状のものは洗えば使える場合もあり。



浸水したグラスウール

3.清掃（洗浄）乾燥させる 家の大敵は「湿気」です！

浸水した家屋は、できる範囲で水分や、泥をとりのぞき、徹底的な乾燥が必要です。乾燥には最低**1カ月以上かける**つもりで、十分に乾かします。



強力な風を送りたい時は…

★乾燥のポイント

- ・晴れた日は窓を開け、外の空気を取り込みましょう。
- ・床下の点検口などを開け、できるだけ外気を床下に送り込みましょう。
- ・灯油は燃焼時に水分を発するので使用は控えましょう。
- ・換気扇も活用しましょう。

湿った空気が留まらないように、空気を動かすことが大切です

カビ対策・対応の方法

水害後にカビの発生しやすい場所

- ・カラーボックスなど、木材を圧縮してあるもの
 - ・システムキッチン（特に壁に接している背面の壁側の板 ↓画像参照）
 - ・合材板（ベニヤ板、コンパネ）
 - ・石膏ボードの裏側
- ※これらは交換・廃棄をお勧めします
- ・水分（湿気）の多い場所
 - ・風通しの悪い場所



カビの発生条件

温度 ・ **湿度** ・ **栄養**（カビが繁殖しやすい成分）

カビ対策の極意 ➡ とにかく換気 とことん**乾かす**

4.消毒する

まずは洗浄が重要。
泥を洗い流しましょう。

泥などの有機物がついたまま消毒しても効果が十分に得られません。
家の構造物は、泥を落として、乾燥させてから消毒します。

主な消毒方法について

(出典：厚労省「浸水した家屋の感染症対策」)

薬液の濃度や用法など消毒薬は、薄めて（希釈して）使用するものがあります。
使用上の注意事項を確認してから使用しましょう。

- 汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合は、できるだけ次亜塩素酸ナトリウムを使用する。
- 色あせを避けたい物、腐食する金属製などの物には、次亜塩素酸ナトリウムが使えない。消毒用アルコール、塩化ベンザルコニウムを使う。

消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	0.02%に希釈する ①食器用洗剤と水で洗う。 ②希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③よく乾燥させる。	0.1%に希釈する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③金属面や木面など色あせが気になる場所は、水で2度拭きする。
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用する ①洗剤と水で洗う。 ②アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない	希釈せず、原液のまま使用する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない
10%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	0.1%に希釈する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布などでよく拭く。	0.1%に希釈する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布などでよく拭く。

参考：日本環境感染学会 一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法

消毒方法

必ずマスクや手袋などの保護具を着ける

↓ 噴霧器で消毒

- ★噴霧する (消毒用アルコール、ベンザルコニウム溶液)
噴霧器や霧吹きで、基礎や拭くのが難しい箇所に吹き付ける。
※次亜塩素酸ナトリウムは噴霧しない。

- ★ぞうきんで拭く
消毒薬を布に浸して固く絞り、木の部分や手が届く部分を拭く。

